

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 6月13日

茨城県知事 大井川 和彦 殿



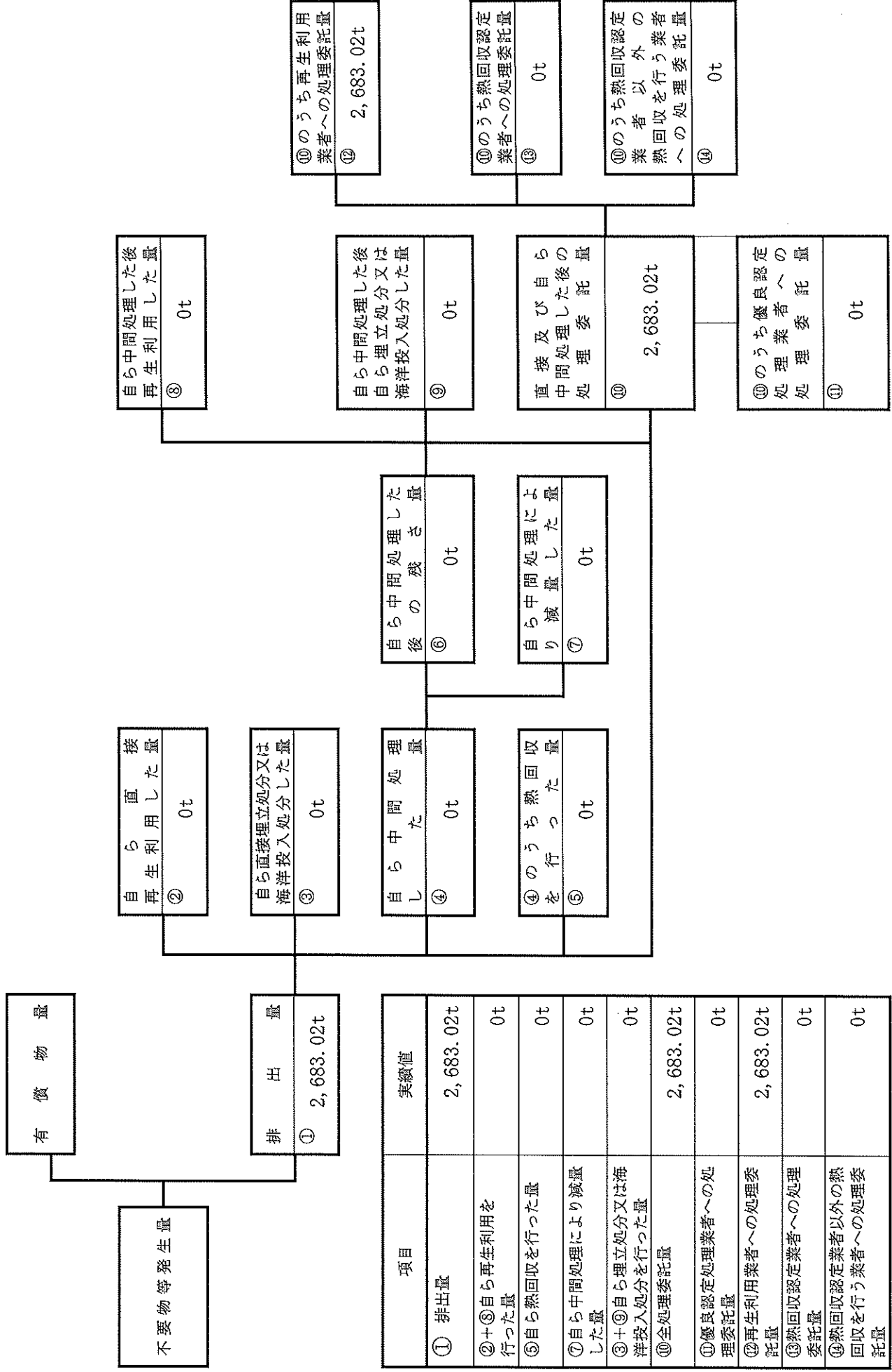
提出者 日本アドバンスロール株式会社
住 所 茨城県ひたちなか市堀口832番地2
氏 名 代表取締役社長 長野 秀樹
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 029-271-1115

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	日本アドバンスロール株式会社 本社工場		
事業場の所在地	茨城県ひたちなか市堀口832番地2		
事業の種類	鍛鋼製造業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	3,766.73t	全処理委託量	3,523.73t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	243t	優良認定処理業者への処理委託量	177.60t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	3,352.87t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への処理委託量	0t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t
※事務処理欄			

計画の実施状況

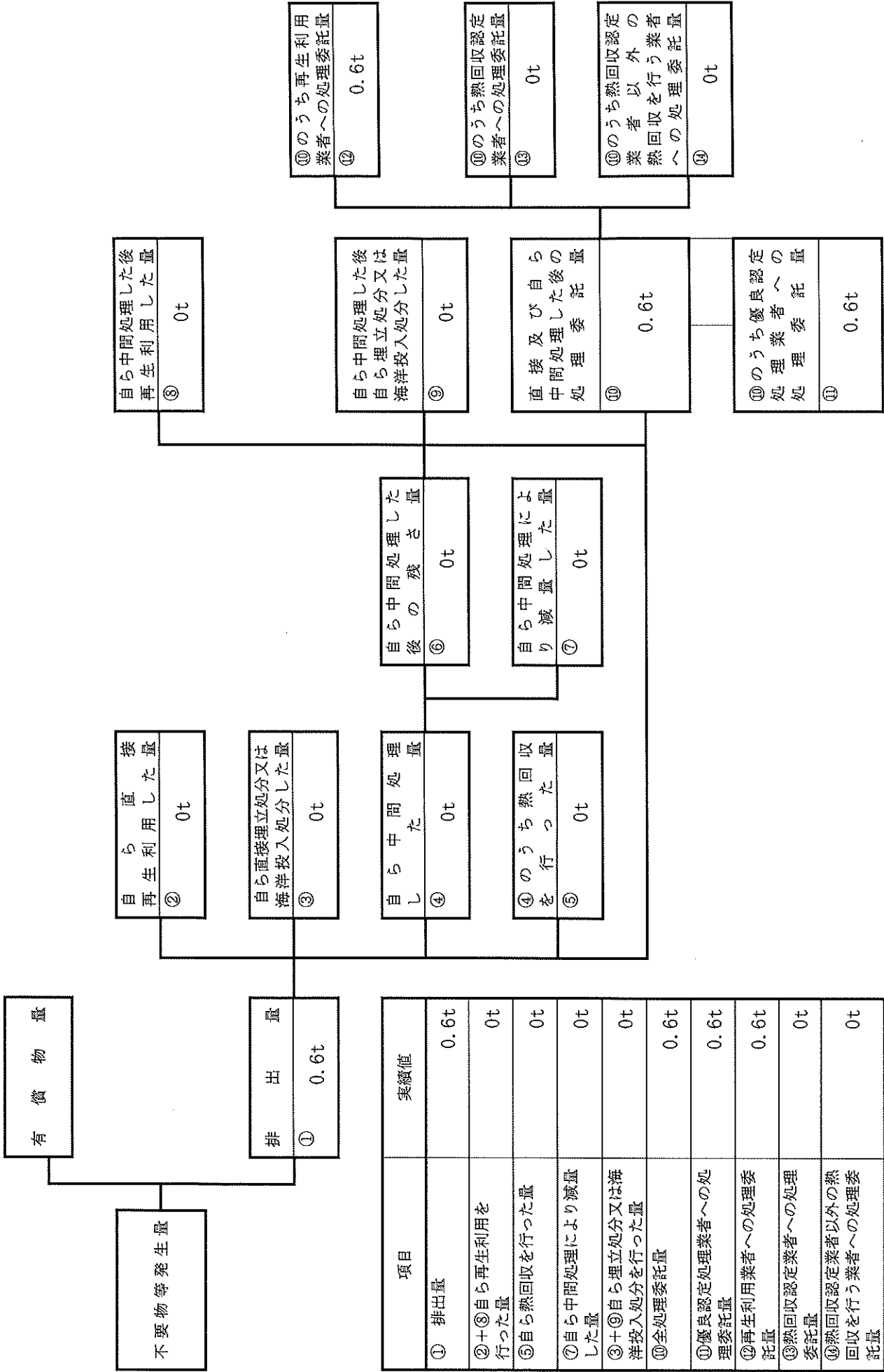
(産業廃棄物の種類：鉱さい(酸化スラグ))



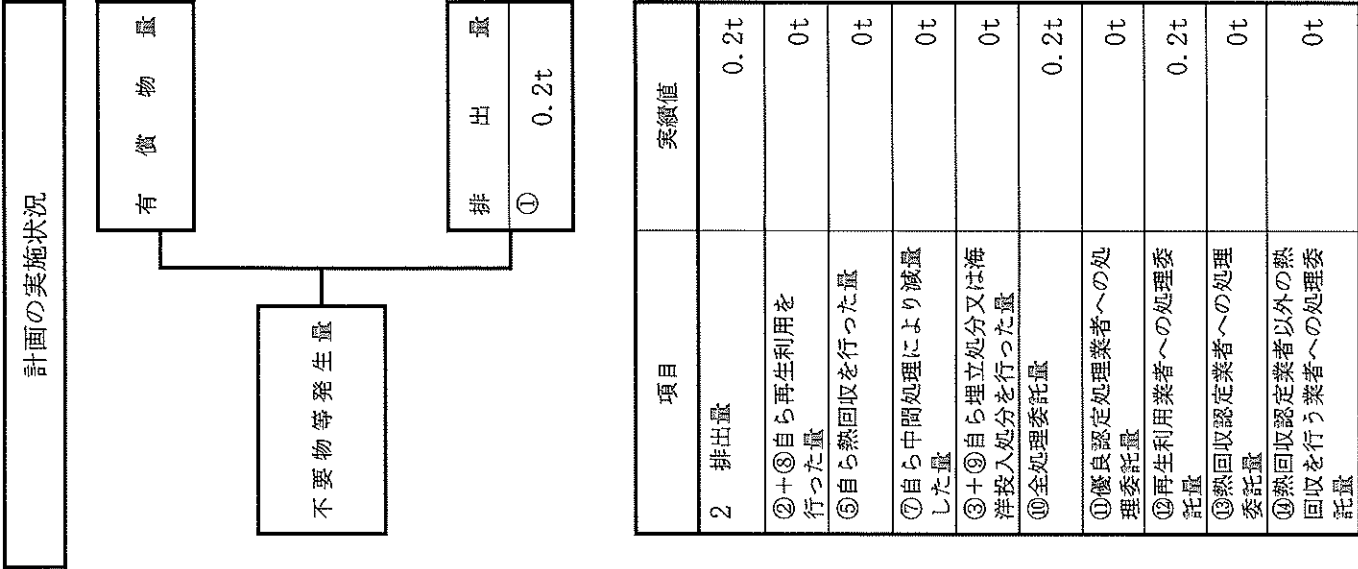
項目	実績値
① 排出量	76.99t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	76.99t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0t
⑫再生利用業者への処理委託量	76.99t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

(産業廃棄物の種類：ガラス・コンクリート及び陶磁器屑(ガラス屑、ファイバ屑))

計画の実施状況

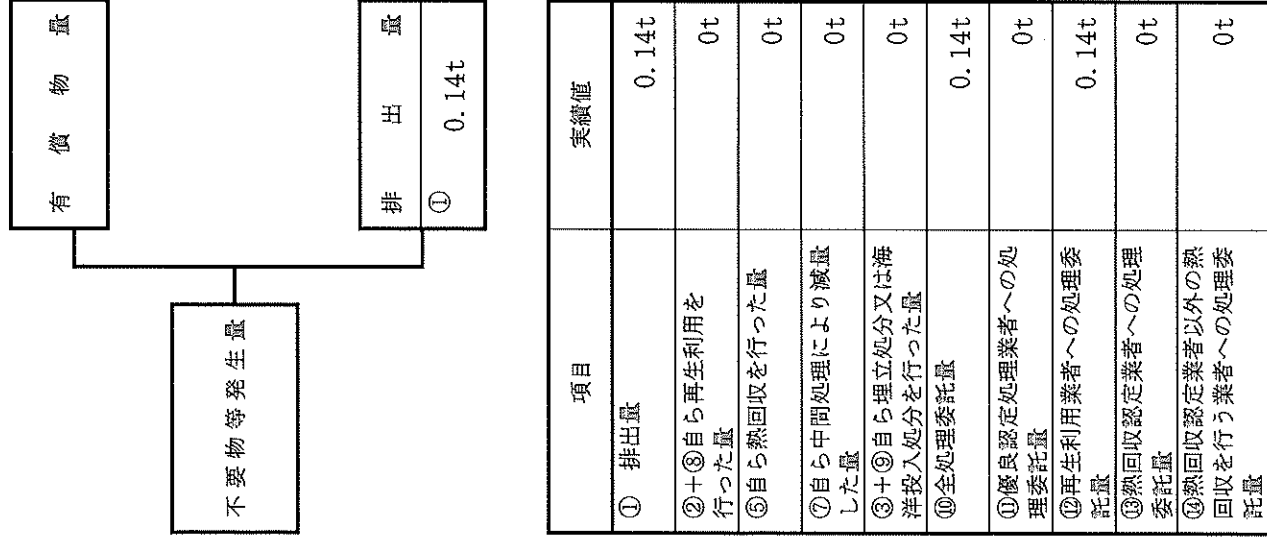


(産業廃棄物の種類：ガラス・コンクリート及び陶磁器屑(砥石屑))



計画の実施状況

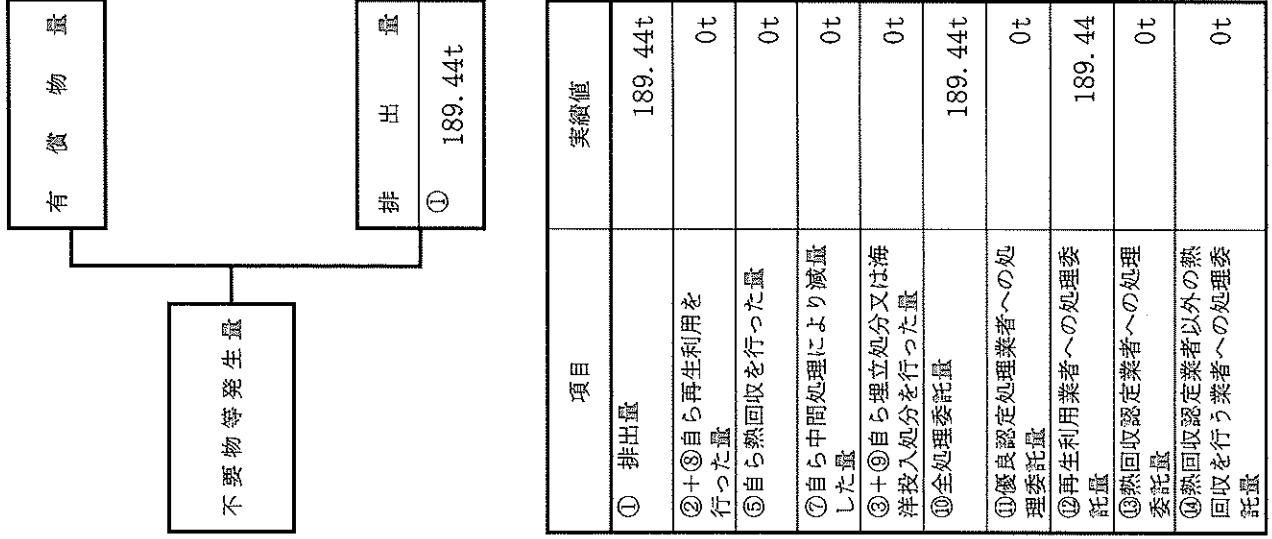
(産業廃棄物の種類：ガラス・コンクリート及び陶磁器屑(陶磁器屑))



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：金属屑(スケール))

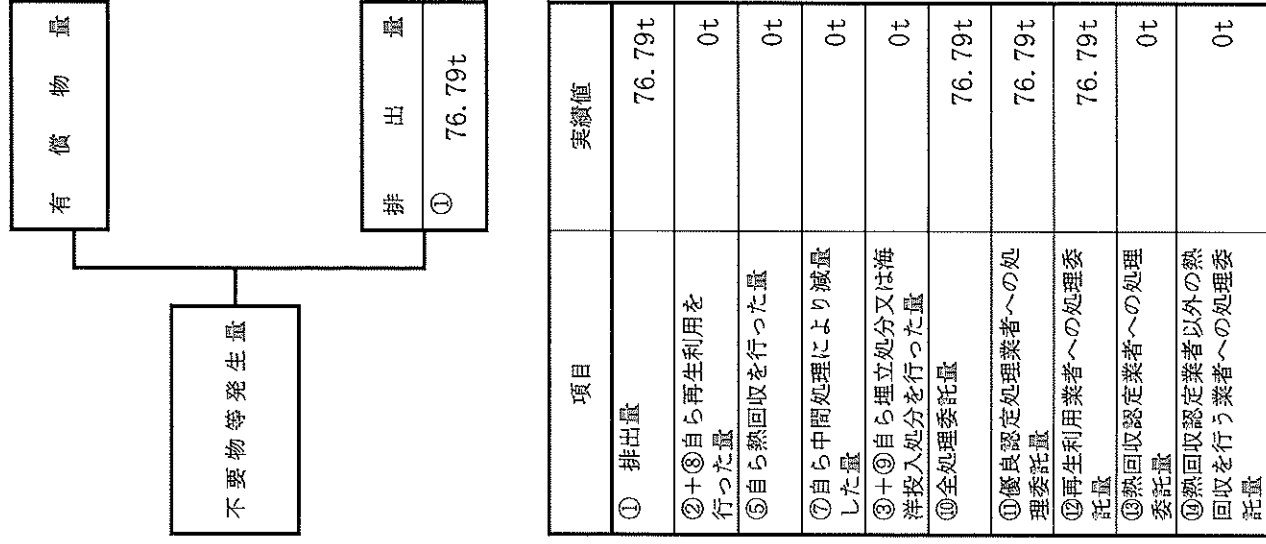
)



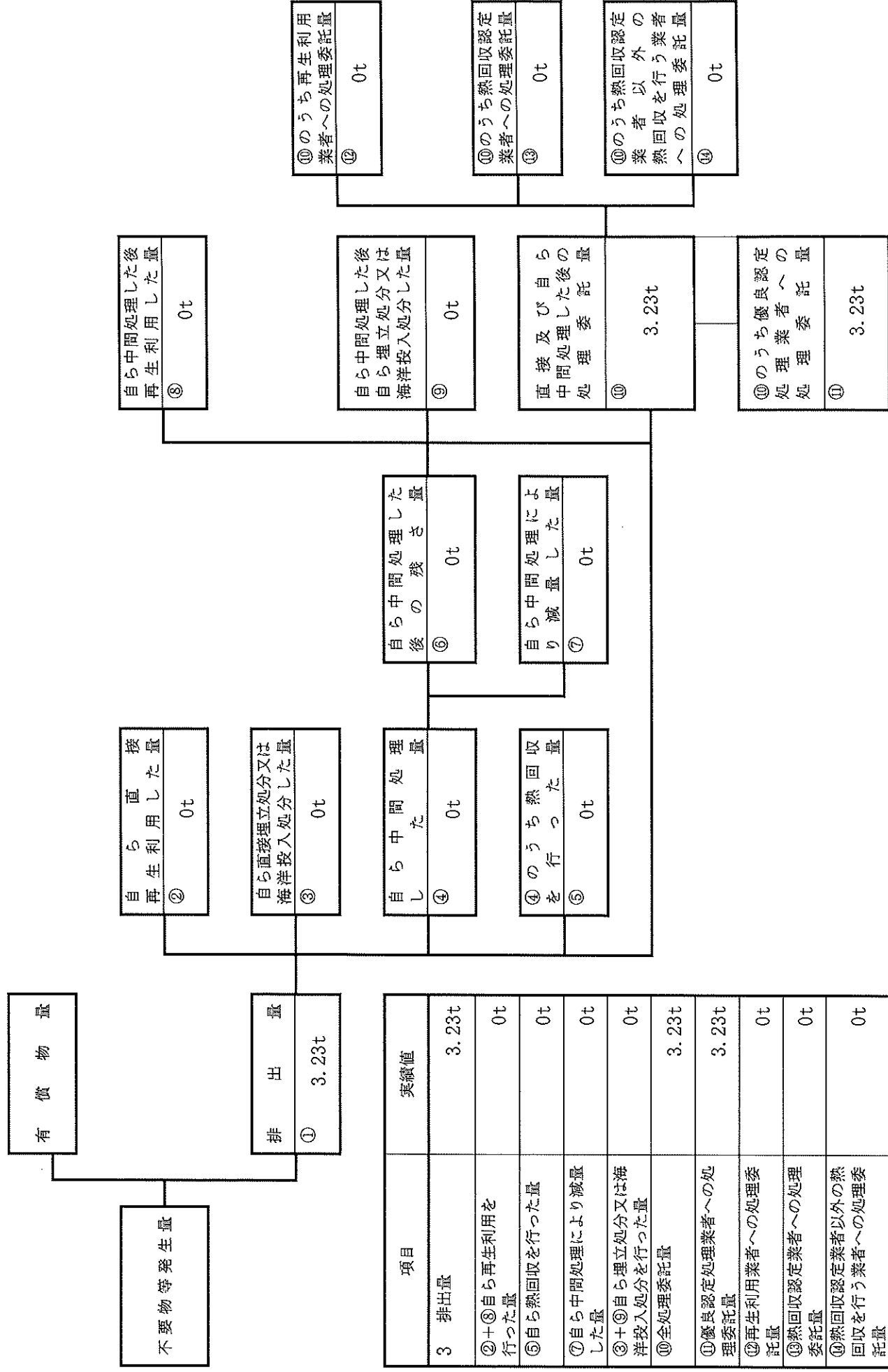
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥(研磨屑)

)

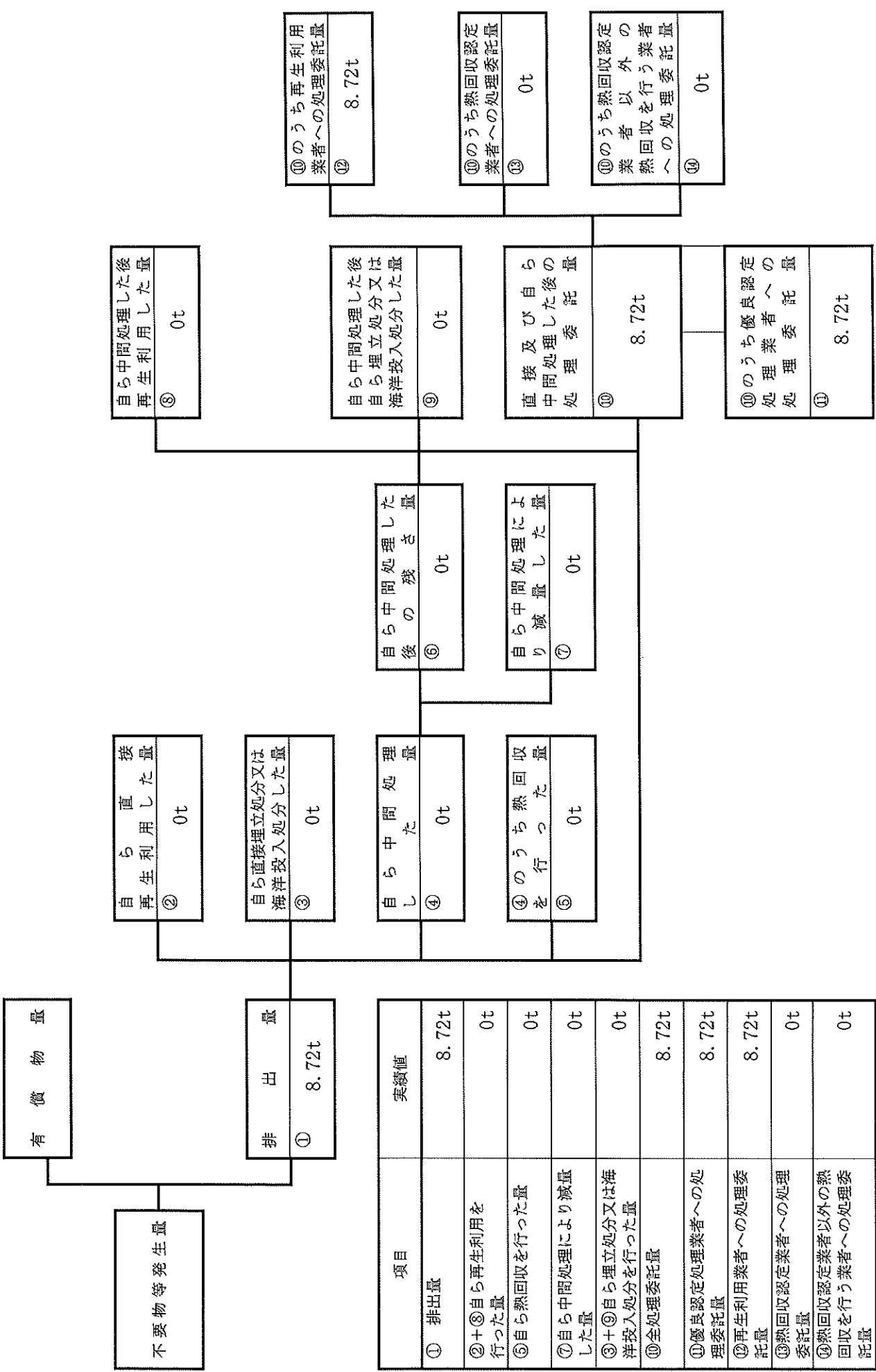


項目	実績値
① 排出量	76.79t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0t
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩ 全処理委託量	76.79t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	76.79t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	76.79t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t



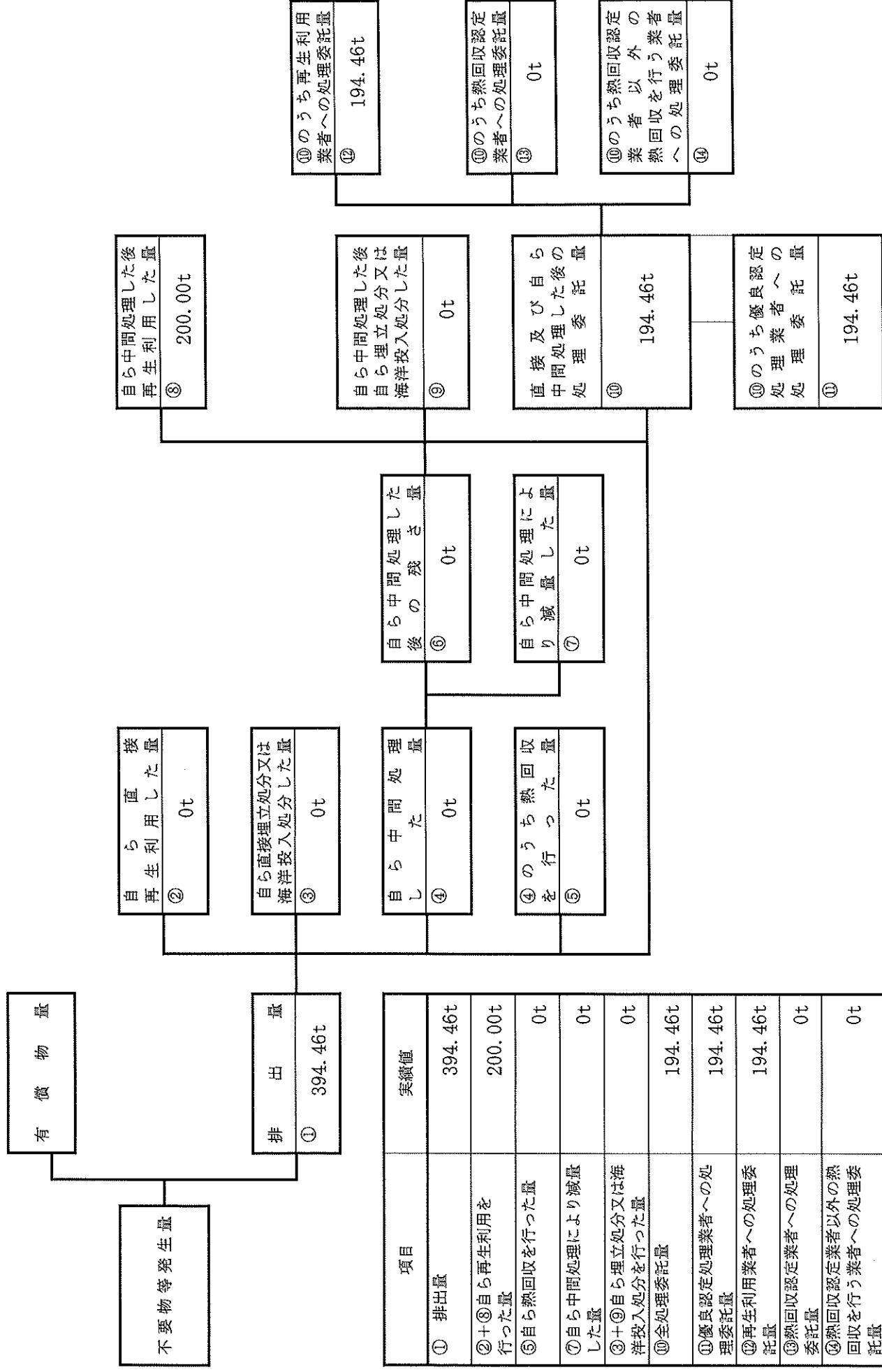
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥(その他汚泥))



計画の実施状況

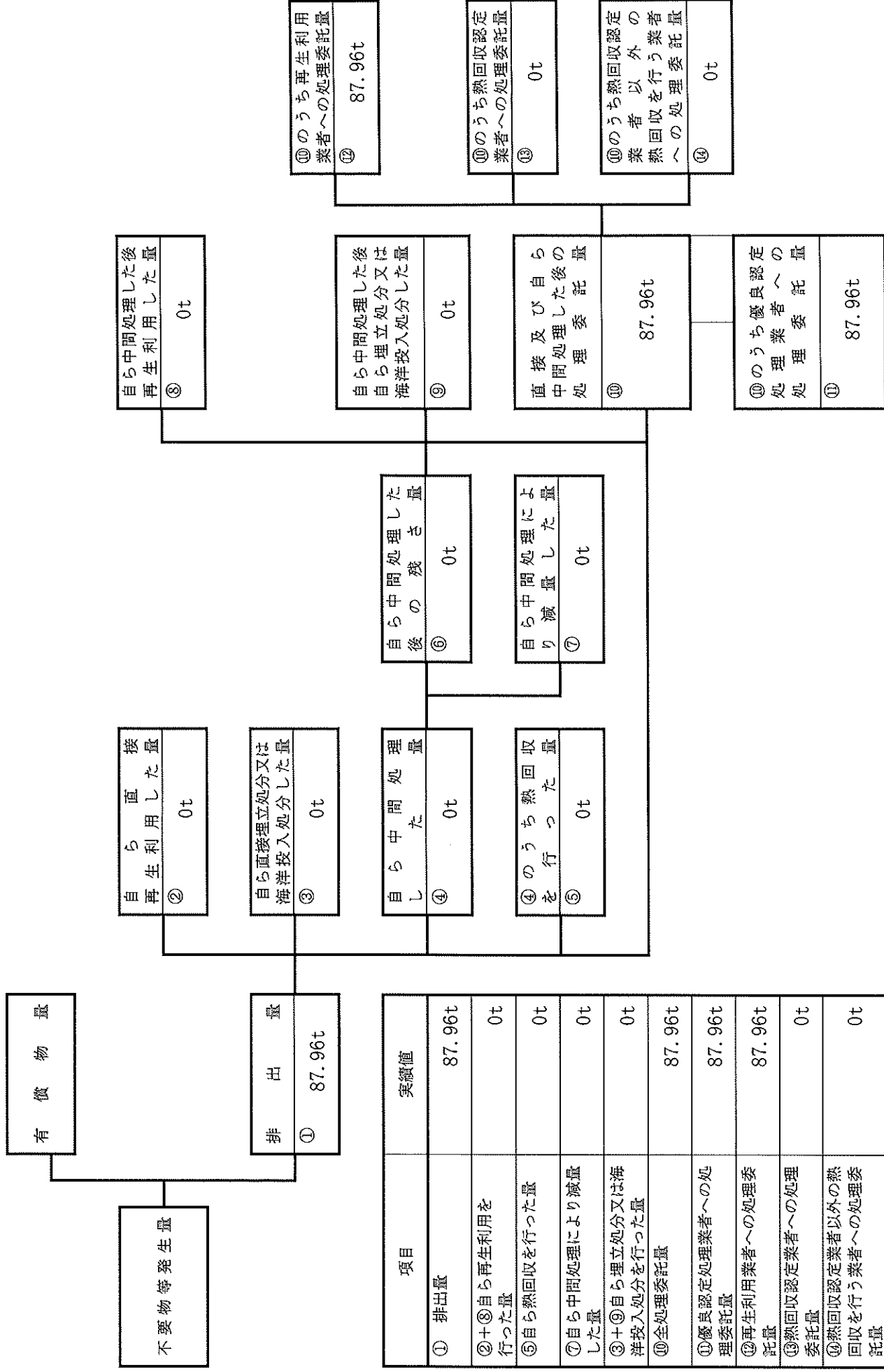
(産業廃棄物の種類：ばいじん(集塵ダスト))

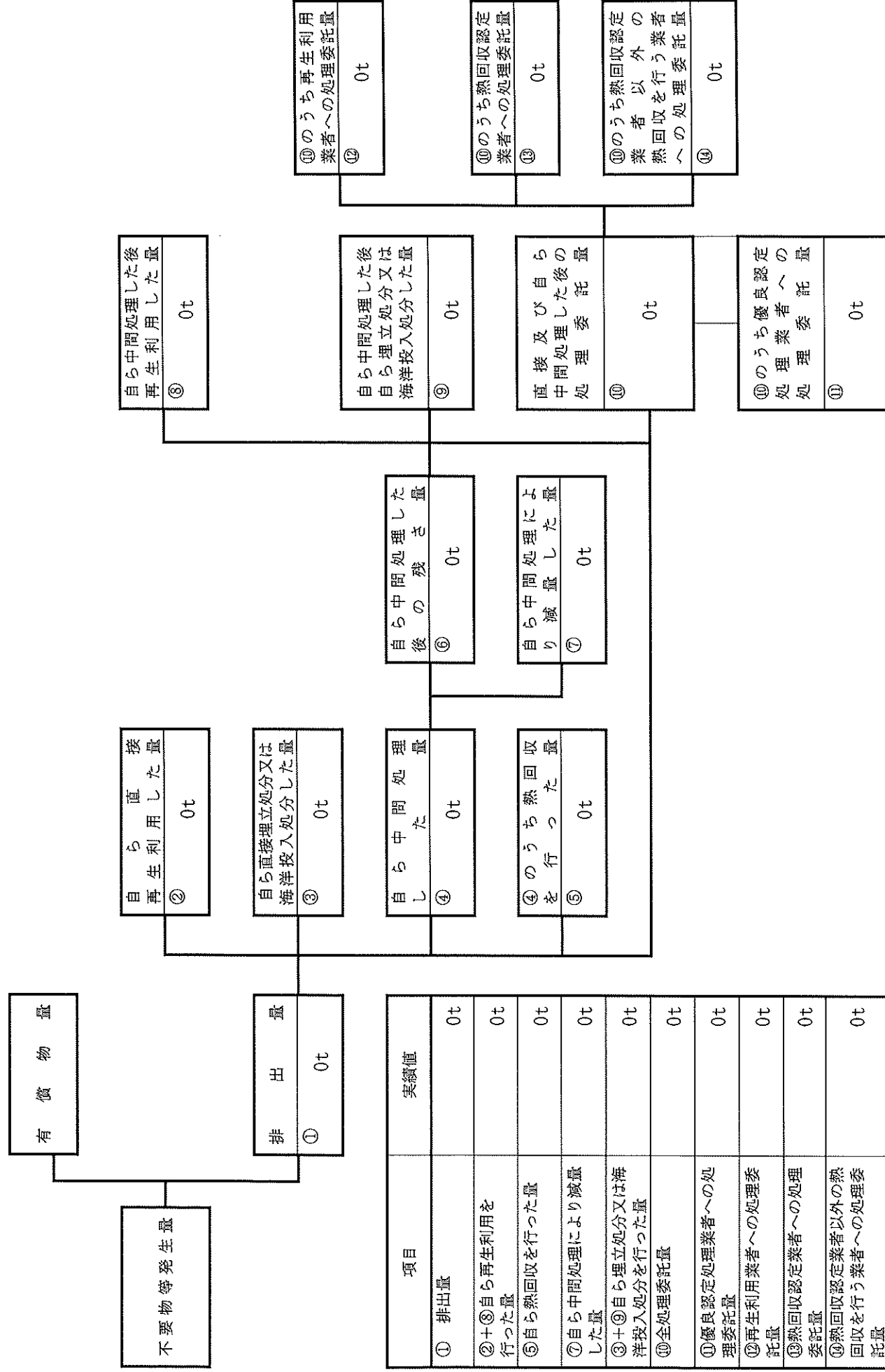


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃油(研削含油水、他)

)

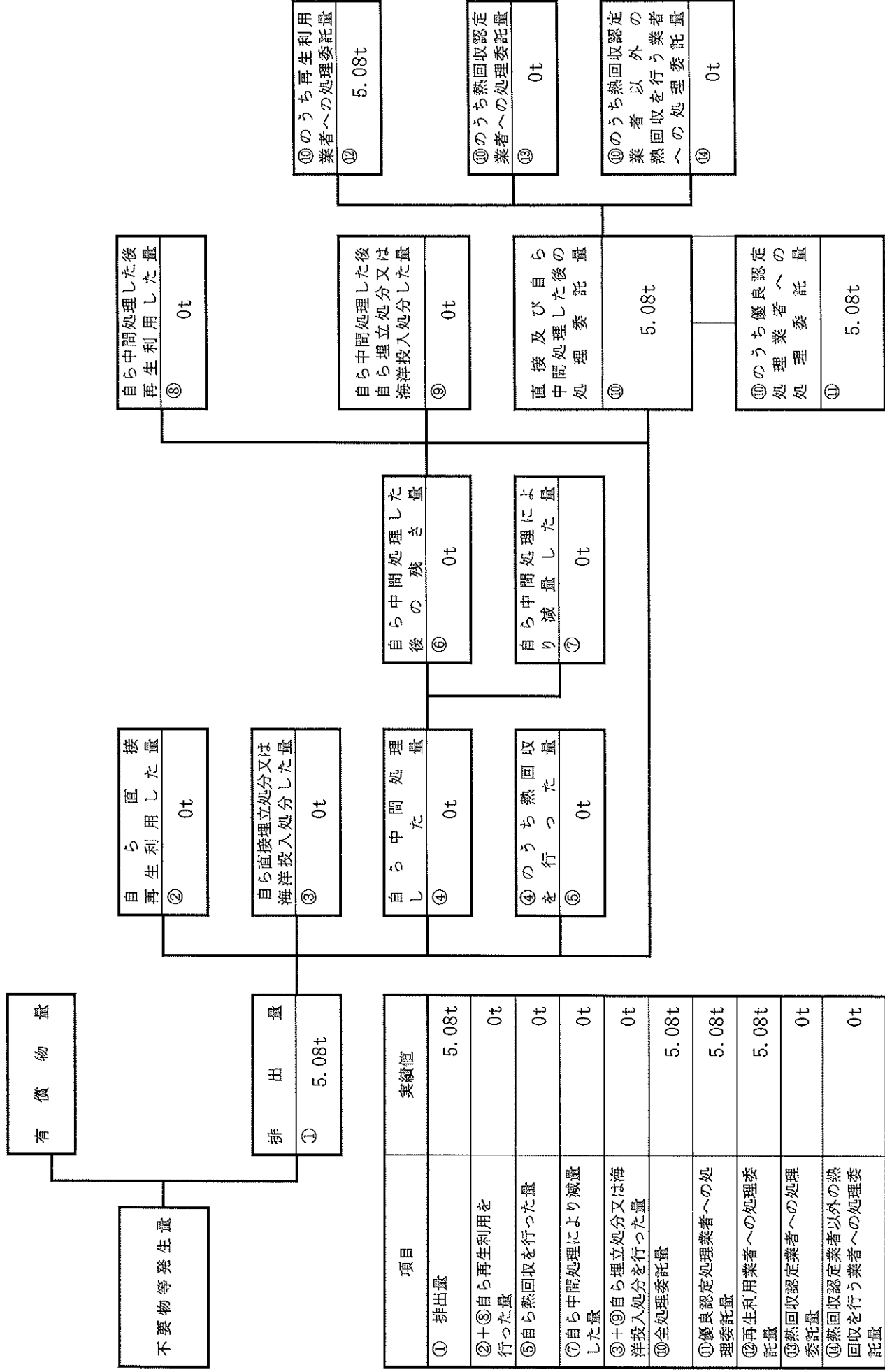




計画の実施状況

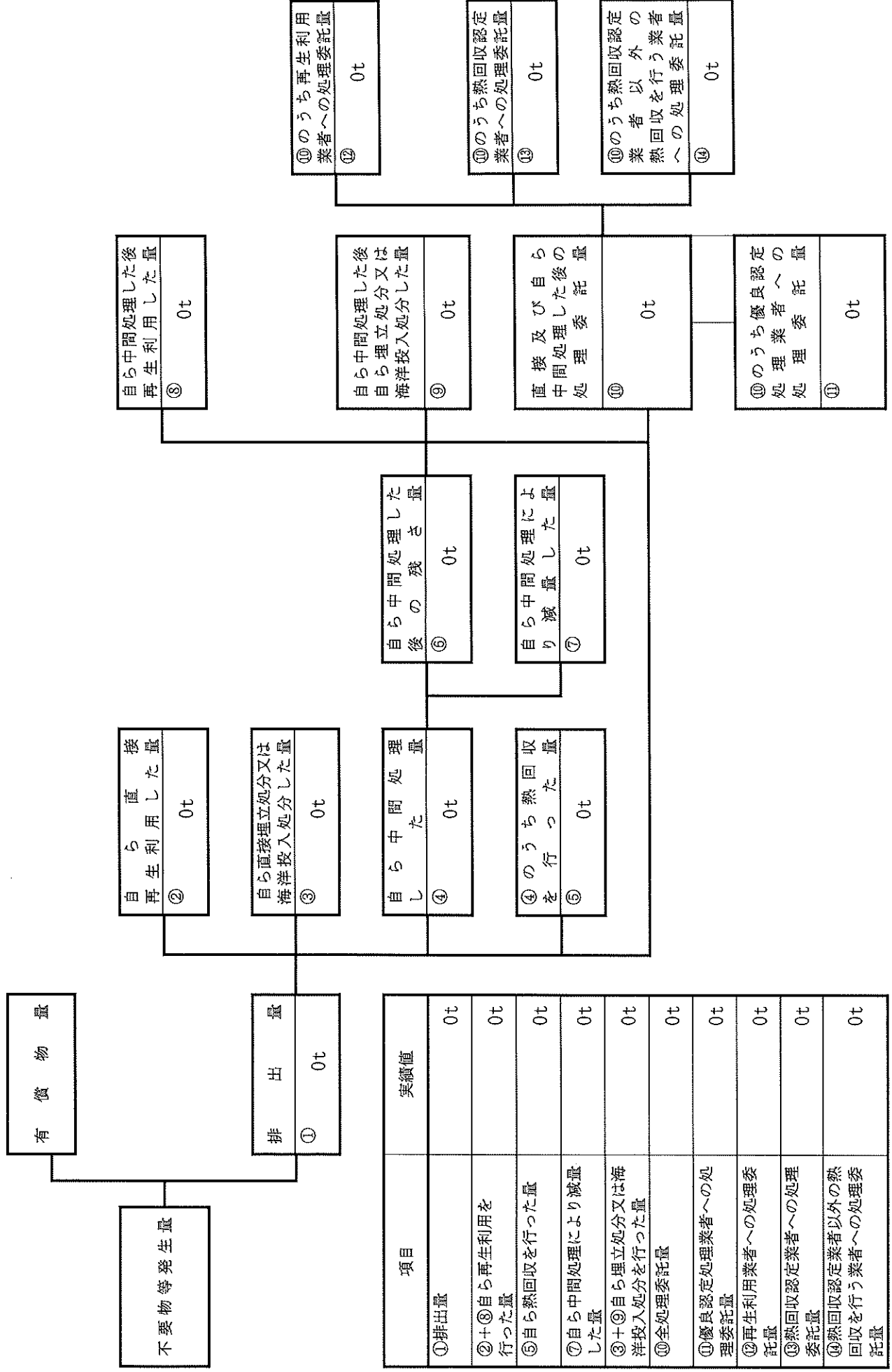
(産業廃棄物の種類：廃プラ(廃ブラ)

)



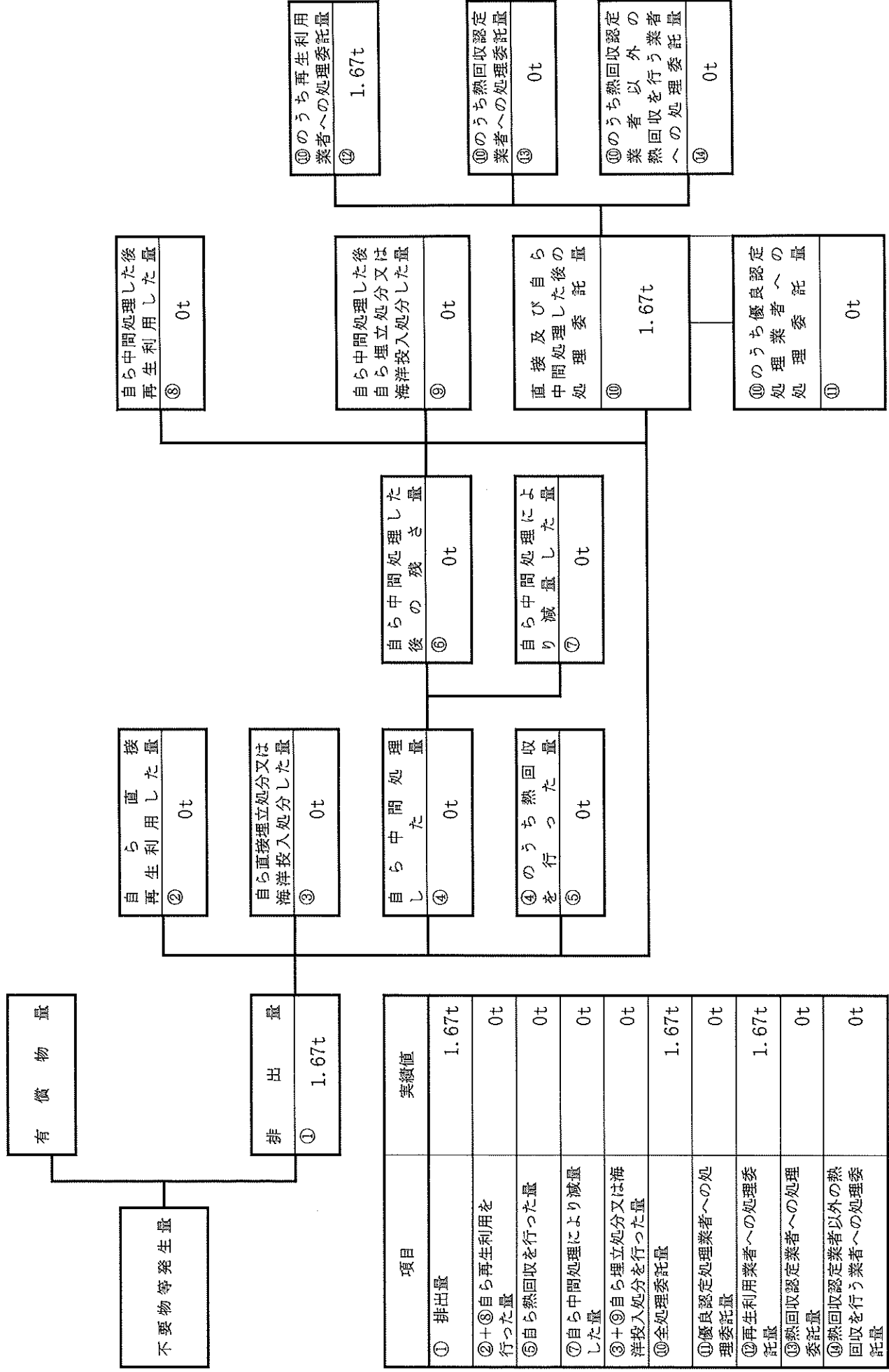
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラ(ファイバ層)



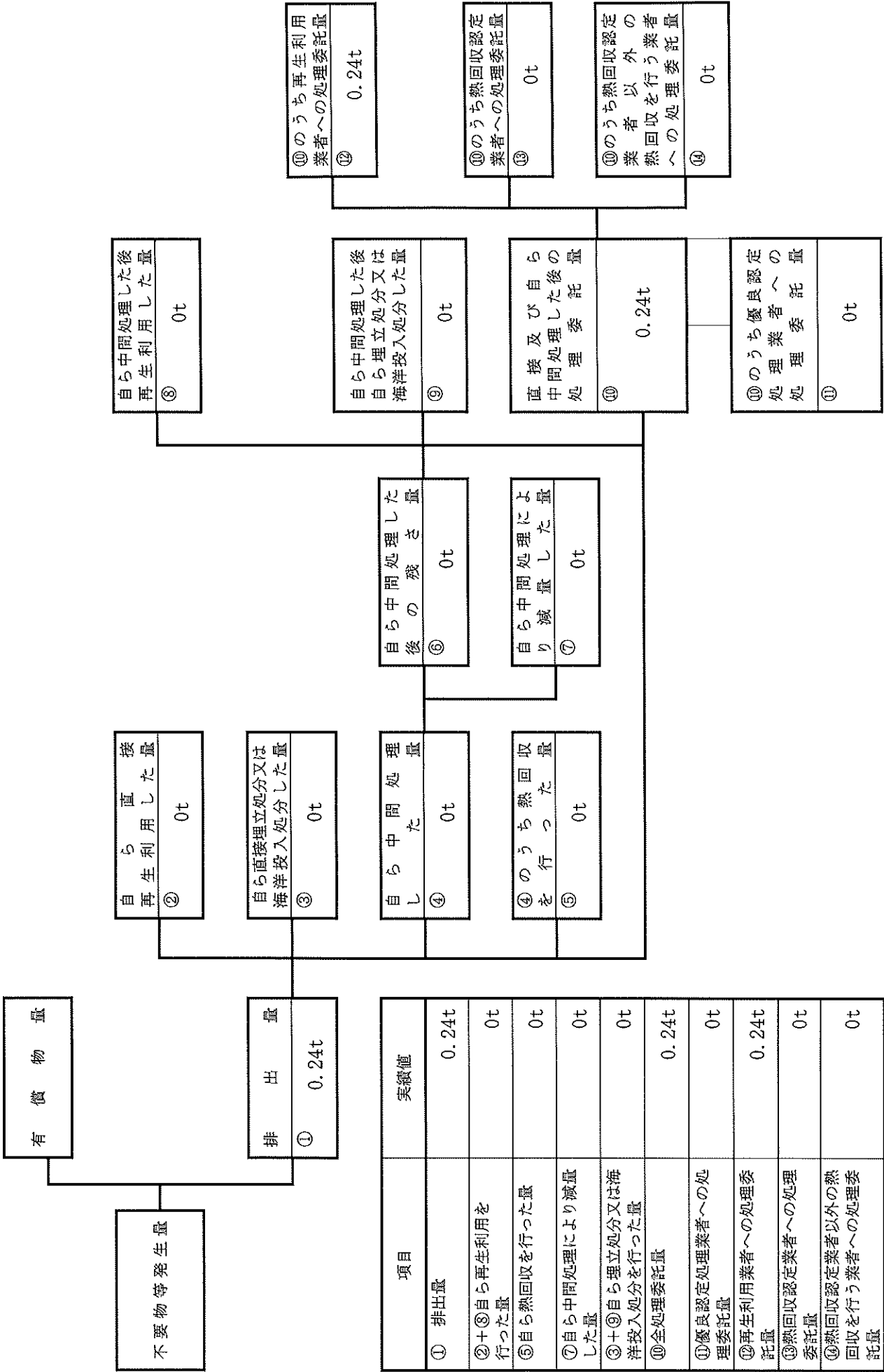
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラ(フレコン))



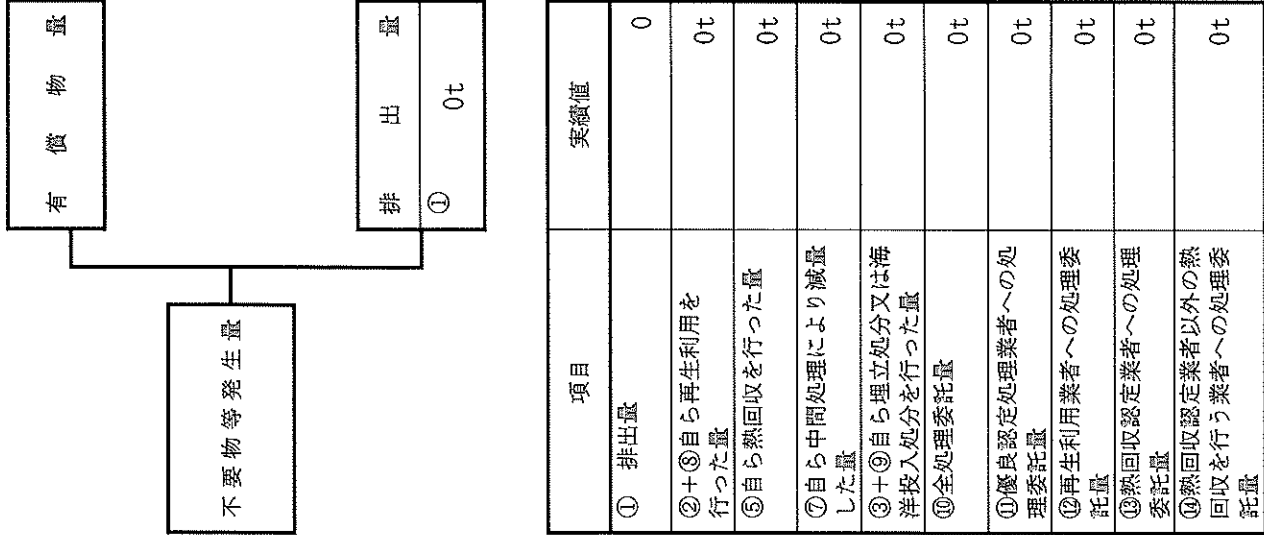
(産業廃棄物の種類：廃プラ(塩ビ、ゴム屑)

計画の実施状況



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラ(OA機器))



(産業廃棄物の種類：水銀使用製品産業廃棄物(蛍光灯))

計画の実施状況

有償物量	
不要物等発生量	
排出量	① 0.08t
自ら再生利用した量	② 0t
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	③ 0t
自ら中間処理した量	④ 0t
④のうち熱回収を行った量	⑤ 0t
④の中間処理の残さ	⑥ 0t
④の中間処理による減量した量	⑦ 0t
②+③+④自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	0.08t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.08t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.08t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

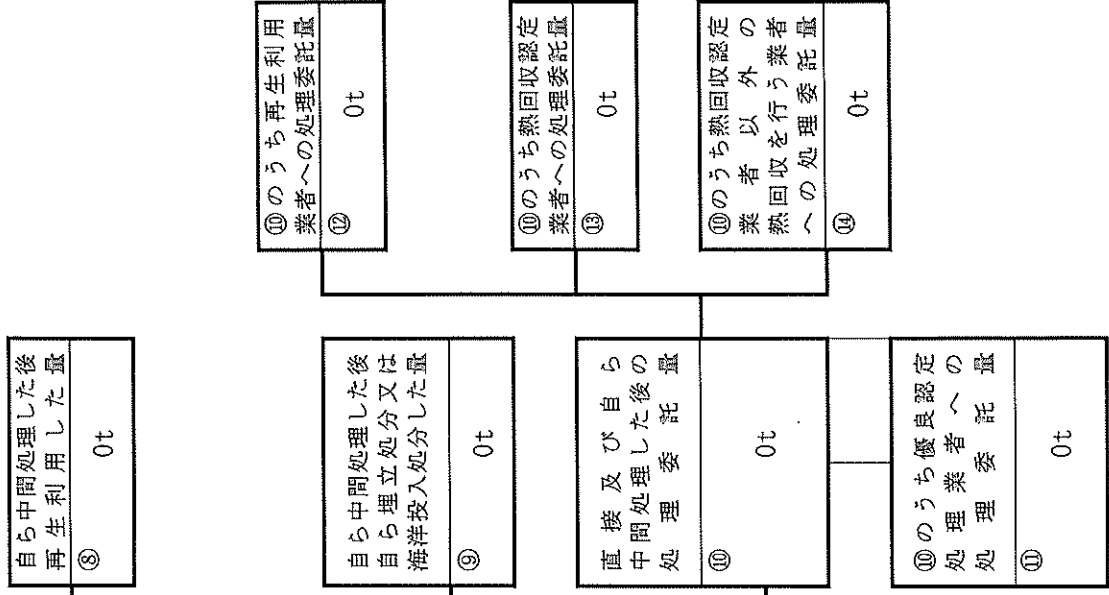
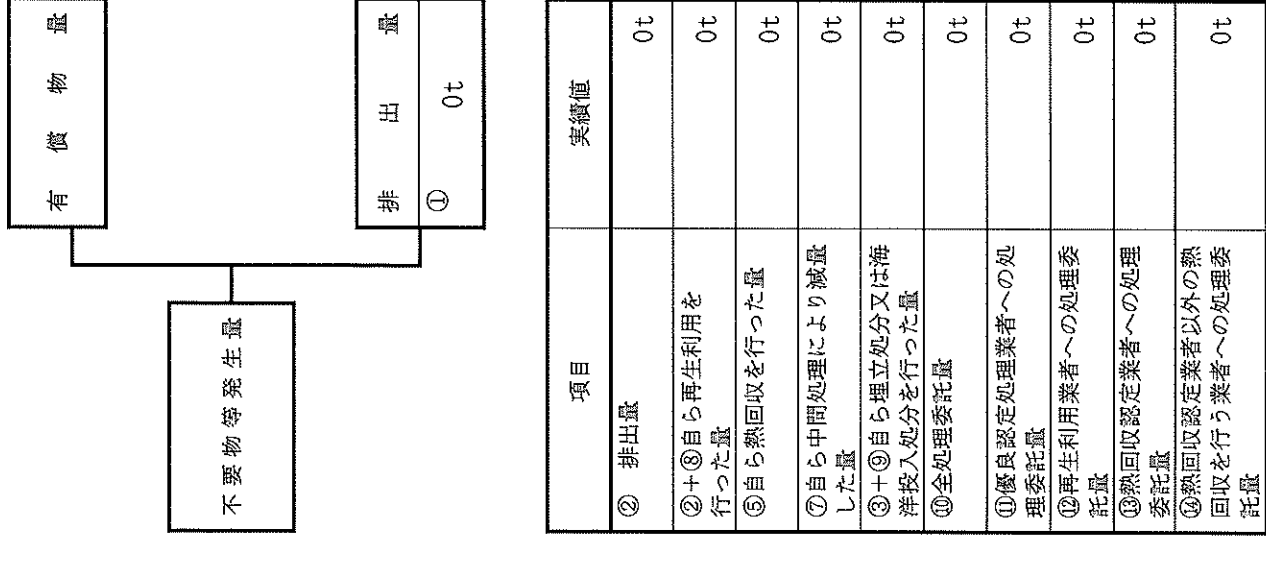
自ら中間処理した後再生利用した量	⑧ 0t
自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑨ 0t
直接及び自ら中間処理した後の委託量	⑩ 0.08t
⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑪ 0.08t
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑫ 0.08t
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬ 0t
⑩のうち熱回収を行う業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑭ 0t

(産業廃棄物の種類：水銀使用製品産業廃棄物(水銀灯))

計画の実施状況	
不要物等発生量	有償物量
	② 自ら再生利用した量 0t
排出量	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 0t
	④ 自ら中間処理した量 0t
実績値	⑤ ④のうち熱回収を行った量 0t
	⑥ ④のうち中間処理した後の残量 0t
① 排出量 0.02t	⑦ ④のうち埋立処分又は海洋投入処分を行った量 0t
②+③自ら再生利用を行った量 0t	⑧ ⑦のうち熱回収を行った量 0t
⑤自ら熱回収を行った量 0t	⑨ ⑧のうち再生利用業者への処理委託量 0.02t
⑦自ら中間処理により減量した量 0t	⑩ ⑨のうち熱回収認定業者への処理委託量 0t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 0t	⑪ ⑩のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量 0t
⑩全処理委託量 0.02t	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量 0.02t
⑪優良認定処理業者への処理委託量 0.02t	⑬ ⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量 0t
⑫再生利用業者への処理委託量 0.02t	⑭ ⑫のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量 0t
⑬熱回収認定業者への処理委託量 0t	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 0t	

計画の実施状況

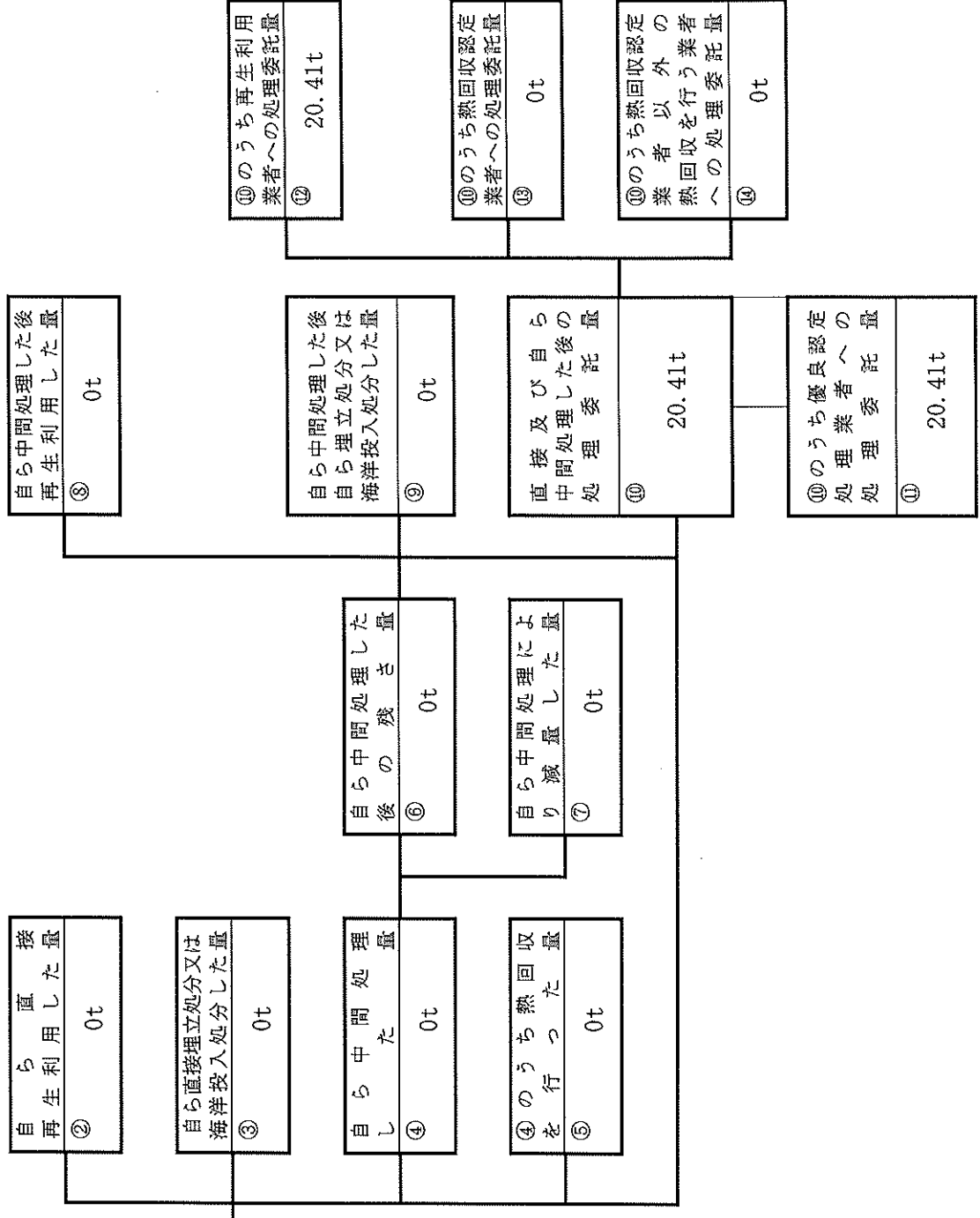
(産業廃棄物の種類：水銀使用製品産業廃棄物(乾電池))



(産業廃棄物の種類：木くず(梱包木くず)

計画の実施状況

有償物量	
不要物等発生量	
排出量	① 20.41t
① 排出量	実績値 20.41t
②+③自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	20.41t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	20.41t
⑫再生利用業者への処理委託量	20.41t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。